前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	いこと	あっては名称)	住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)				
名ダウイ	匕工	(株)	〒 140-0002 所 東京都品川区東品川2-2-24天王洲セントラルタワー11F				
本票作成 部署名:笠岡工場 管理課							
主たる業種       分類 コード       18       業種名: プラスチック製品製造業(別掲を除く)							
事業の   事業内容:押出し発泡板の製造販売							
概要 笠岡工場従業員:35名(コントラクター5名含む)							
	番	号 工場等の名称	所 在 地				
	(	笠岡工場	笠岡市茂平2918-11				
県内の							
主 な 工場等							
		+					
		_					
特定事業	老者	☑ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 □ ②バス・	トラック100台、タクシー250台以上 □ ③CO₂換算3,000t以.				
の該当要		(●工場等の数 1 所	●車両台数(②該当の場合) 台)				
温室効果カ	ガス	基準年度(平成 26 年度) (平成	27 )年度排出量 目標年度(平成 31 年度				
排出量		5, 179 t CO <sub>2</sub>	5, 060 t CO <sub>2</sub> 5, 179 t CO <sub>2</sub>				
		番号 工場等の名称	(平成 27 )年度排出量				
		① 笠岡工場	5,060 t CO <sub>2</sub>				
主な工場	景等		t CO <sub>2</sub>				
の排出量			$t\;CO_2$				
			t CO <sub>2</sub>				
			t CO <sub>2</sub>				
		計画期間: 平成 27 年度					
削減目標			減実績 目標削減率 目標達成				
達成状況	况	☑ 原単位基準 5.9	% 0.0 % ☑達成 □未通				
(=)(() +	t. 2011.	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内	容 原単位当たり排出量				
(原単位基 の削減目標	票を	生産量 CO2排出量 原単位排出量	基準年度 ( 27 )年度 目標年度				
選択してV 場合に記力		基準(H26) 312, 189m3 5, 179tC02 0.017tC02/m3 H27年度 324, 471m3 5, 060tC02 0.016tC02/m3					
(	<b>坐</b> 少 (		$t co_2/(m3) t co_2/(m3) t co_2/(m3)$				
ベンチマー		対象事業の名称 ベンチマーク	指標 関連数値(平成 27 年度) 達成率				
指標の状	沈沢						
【削減状況の自己評価】							
・削減目標達成の要因として、 生産量Up(対前年度3.8%UP)や、計画していた省エネモーターの導入効果などのにより							
電力原単位が改善 (-4.5%) されたこと。							
もう一つは、tCO2換算係数が下方修正 (-1.8%) されたこと。 これらにより5.9%と予想を上回る削減実績となった。							

<b>7</b> L.	進進	$\mu$	11-44
14	出7年	1/\	<del>     </del>
A JI	正人巴	1/-	111.7

- ・定期的に関連部署とのミーティングを実施し、環境活動や省エネ活動報告など 情報の共有化を図っています。
  - -ECO (エコロジー) Team Meetingの開催 (2ヶ月毎)
- ・小集団活動 MSS(Mini six sigma)による生産効率の改善実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】				
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容			
	(H27年度実施分) ①MSS活動による生産効率改善活動 ①省エネ意識定着教育の継続実施 ③省エネ機器の導入、切替え ・150Kwモーターを省エネタイプへ更新。 (今後実施予定分) ①省エネ機器継続導入 LED照明、省エネモーターへの置き換え ②不良率削減活動の実施 ③省エネ意識定着教育の継続実施			

【森林保全等吸収源対策への取組】							
県内で の取組	無						
その他	無						
【再生可能エネルギーの導入】							
県内で の取組	無						
その他	無						
【その他特記事項】							